

## 平成25年度 第3回日本粘土学会常務委員会議事録

日 時：平成25年7月20日（土） 13：00-15：00  
場 所：早稲田大学理工学キャンパス62W号館1階  
大会議室

## 出席者（順不同，敬称略）

山田，八田，黒田，中川，山崎，志々目，  
小川，佐藤，鈴木（正），宮脇，高木，篠原，  
河野，田村，日比野，鈴木（憲），土信田，  
横山（記）

## 1. 報告事項

- (1) 粘土科学の発行・編集状況（鈴木（正））：第52巻1号以降の発行予定に関して報告された（別紙）。また，バックナンバーの残部数が過多となっているため今後発行部数について検討したいとのことであった。電子投稿のための投稿規定の改定案の紹介があった。
- (2) Clay Science の発行・編集状況（河野）：Vol.16 No.4ならびに Vol.17 No.1・2の発行・編集状況を含め，今後の発行予定について報告がなされた（別紙）。また，Clay Science データの使用許可申請が秋田大学からあり許可したとの報告があった。
- (3) 会計（土信田）：平成25年度会計中間収支状況（別紙）の報告がなされた。
- (4) 国際協力（佐藤，小川）：
  - ・第15回 ICC の開催報告がなされ，次回は Granada（スペイン）で開催されることが報告された（2017/07/17-21）。
  - ・韓国粘土学会が設立され，5月23日から第1回韓国粘土学会が開催された旨報告があった。
- (5) 企画
  - ①標準粘土（宮脇）：標準粘土の依頼状況について報告がなされた。また，標準粘土のセリサイトおよび劈開セリサイトの頒布は今後中止することとなった。
  - ②ホームページ（八田代理）：特になし。
- (6) 庶務 会員動向（土信田）：会員の動向に関して報告があった（別紙）。
- (7) 連合等（八田代理）：特になし。
- (8) 事務局（土信田）：共催・協賛について報告があった（別紙）。別紙において一部追記修正がなされた。
- (9) その他 特になし

## 2. 審議事項

- (1) 第57回粘土科学討論会（高知大学）について  
中川委員より第57回粘土科学討論会の準備状況について説明がなされた。現状の参加申込者は112名，見学会参加希望者は29名であった。また，粘土科学に掲載する粘土科学討論会のお知らせ及びプログラムの確認を行った。

- (2) シンポジウムについて  
日比野委員より本年度のシンポジウムの準備状況について報告があった。本年度のテーマは，「女性研究者が拓く粘土科学」で，6件の発表がなされることとであった。また，発表者への記念品について議論がなされた。
- (3) その他 特になし。

## 3. 協議事項

- (1) 平成25年度日本粘土学会賞等選考結果：山田学会賞等選考委員長より選考結果について報告された（別紙）。
- (2) 平成25年度論文賞等選考結果：山田学会賞等選考委員長より選考結果について報告された（別紙）。
- (3) 平成25年度日本粘土学会学術振興基金選考結果：八田常務委員長（渡村学術振興基金選考委員長の代理）より振興基金の選考の結果，5名を採択したとの報告がなされた（別紙）。
- (4) インパクトファクター取得の方法について：篠原委員よりセレクションプロセスについての説明がなされ，インパクトファクターの取得のために早急に手続を開始するとの方向性が示された。
- (5) 会誌の発行部数について：現状650部を発行しているが600部へ減らすことが了承された。
- (6) 粘土科学の投稿規定について：提示された新規投稿規定について了承された。

## 4. その他

- ・来年度の第58回粘土科学討論会の開催地に関して，福島県での開催を検討中であることが報告された。ただし，会場等の都合がつかない場合には，つくば市で開催を検討するとのことであった。開催時期は10月上旬を予定しているとのことであった。

以上

## 平成25年度 第3回日本粘土学会評議員会議事録

日 時：平成25年7月20日（土） 15：00～17：00  
場 所：早稲田大学理工学キャンパス62W号館1階  
大会議室

## 出席者（順不同，敬称略）

山田，八田，黒田，中川，山崎，志々目，  
小川，佐藤，鈴木（正），宮脇，高木，蛭名，  
太田，伊藤，篠原，河野，田村，高橋，  
日比野，鈴木（憲），亀島，土信田，横山（記）

## 1. 報告事項

- (1) 粘土科学の発行・編集状況（鈴木（正））：第52巻1号以降の発行予定に関して報告された（別紙）。また，バックナンバーの残部数が過多となっているため今

後発行部数について検討したいとのことであった。  
電子投稿のための投稿規定の改定案の紹介がなされ、内容確認の依頼があった。

- (2) Clay Science の発行・編集状況 (河野) : Vol.16 No.4ならびに Vol.17 No.1・2の発行・編集状況を含め、今後の発行予定について報告がなされた (別紙)。また、Clay Science データの使用許可申請が秋田大学からあり許可したとの報告があった。
- (3) 会計 (志々目) : 平成25年度会計中間収支状況 (別紙) の報告がなされた。
- (4) 国際協力 (佐藤・小川) :
  - ・第15回 ICC の開催報告がなされ、次回は Granada (スペイン) で開催されることが報告された (2017/07/17 - 21)。
  - ・韓国粘土学会が設立され、5月23日から第1回韓国粘土学会が開催された旨報告があった。
- (5) 企画
  - ① 標準粘土 (宮脇) : 標準粘土の依頼状況について報告がなされた。また、標準粘土のセリサイトおよび劈開セリサイトの頒布は今後中止することとなった。
  - ② ホームページ (八田代理) : 特になし。
- (6) 庶務 会員動向 (土信田) : 会員の動向に関して報告があった (別紙)。
- (7) 連合等 (山崎) : 日本地球惑星科学連合に関する活動報告があった。
- (8) 事務局 (土信田) : 共催・協賛について報告があった (別紙)。
- (9) その他
  - ・特になし。

## 2. 審議事項

- (1) 第57回粘土科学討論会 (高知大学) について  
中川委員より第57回粘土科学討論会の準備状況について説明がなされた。現状の参加申込者は112名、見学会参加希望者は29名であった。また、粘土科学に掲載する粘土科学討論会のお知らせ及びプログラムの確認を行った。
- (2) シンポジウムについて  
日比野委員より本年度のシンポジウムの準備状況について報告があった。本年度のテーマは、「女性研究者が拓く粘土科学」で、6件の発表がなされることであった。また、シンポジウム発表者の参加登録料および懇親会費の扱いについて議論がなされた。
- (3) その他 特になし。

## 3. 協議事項

- (1) 平成25年度日本粘土学会賞等選考結果 : 山田学会賞等選考委員長より選考結果について報告された (別紙)。

- (2) 平成25年度論文賞等選考結果 : 山田学会賞等選考委員長より選考結果について報告された (別紙)。
- (3) 平成25年度日本粘土学会学術振興基金選考結果 : 八田常務委員長 (渡村学術振興基金選考委員長の代理) より振興基金の選考の結果、5名を採択したとの報告がなされ、承認された (別紙)。
- (4) インパクトファクター取得の方法について : 篠原委員よりセレクションプロセスについての説明がなされ、インパクトファクターの取得のために早急に手続きを開始するとの方向性が示された。また、Elsevier の検索システムの Scopus にも Clay Science が載るような手続きを行ってはどうかといった提案があった。
- (5) 会誌の発行部数について : 現状650部を発行しているが600部へ減らすことが了承された。

## 4. その他

- ・来年度の第58回粘土科学討論会の開催地に関して、福島県での開催を検討中であることが報告された。ただし、会場等の都合がつかない場合には、つくば市で開催を検討するとのことであった。開催時期は10月上旬を予定しているとのことであった。

以上